



第1回 野尻哲史と考える「殖やした後の減らし方」

2026年4月3日

合同会社フィンウェル研究所

代表 野尻哲史

資産活用のチカラ

約2800万円

資産活用
= 麓から遡って下山ルートを確認

2400万円

年率3%で運用できたとして、
毎年残高の4%を引き出すと
平均して毎年1%資産が減少

年金以外に毎月10万円 × 12ヵ月 × 20年
= 2400万円

引出総額は
約1560万円

引出総額は
2400万円

引出総額は
約4000万円

使いながら
運用する時代

使うだけの時代

65歳

80歳

100歳

(注) 「使いながら運用する時代」の「年率3%運用」は毎年3%で運用できることを想定しているため実際には起こり得ない。そのため、実際の運用においては計画通りにならない可能性がある。ここでは「使いながら運用する」というコンセプトの効果を理解するために単純化している。(出所)合同会社フィンウェル研究所

重要事項

- 当該資料は信頼できる情報、データをもとに合同会社フィンウェル研究所が作成しておりますが、正確性・完全性に関して当社が保証するものではありません。
- 当該資料に記載された情報、意見は作成時点のものであり、その後の情勢の変化などによって予告なく変更することがあります。
- いずれの情報、データ、意見は将来の傾向などを保証もしくは示唆するものではありません。
- 当該資料に係る一切の権利は引用部分を除いて弊社に所属し、いかなる目的であれ当該資料の一部または全部の無断での使用・複製は固くお断りします。

合同会社フィンウェル研究所